

神美民話 【権現谷】

現在、倉見に清明宝勝寺という臨済宗南禅寺派に属する禅寺があるが、清明山という名は、昔、陰陽師で有名な安部清明が寓居し、その道の法をもって一間四方蚊蠅を封じたと言いその所を権現谷という。(神美村誌より)

「豊岡民話 耳ぶくろ(昭和50年発行)」より

クイズ【2】のヒント



神美民話 【大本教但州別院】

豊岡市倉見字舟山は、県道の西側の小高い丘であり、六百九十坪あるとのことで、今は樹木雑草が生い茂っているが、此所には大本教但州別院があったところである。

建設者西村理氏(後には能理緒)は、若くして大本教に引かれて入信し、この教えを広めようと努力し別院を建てる位置を物色し、舟山が最も適当であると決定した。

多くの土地を私財をなげうって購入し、遂に昭和六年十一月かわらぶき平屋総檜造の鶴遊殿を建立した。この竣工式には、教祖王仁三郎氏がこられ盛大な行事が行われた。この時に教祖のよまれた「三千年の田鶴の巢籠る出石山 尾根の松風更生をうたう」の歌碑が建てられた。

ついで昭和八年四月には、同じくかわらぶき平屋総檜造の立派な神殿が建てられ、鶴鳴殿と名づけられ、ここにも同じく歌碑が建てられた。

「丹頂の巢籠る常磐樹を 吾鶴山に宇つしたくおもう」このように、舟山の上にそびえ建つ二棟の建物、二基の歌碑は、実に目もまばゆい立派なものであったが、それも束の間、昭和十年十二月八日の第二次大本教弾圧事件により、翌十一年六月強制売却取りこわしにあい、今では後かたもなく前記の通り樹木雑草が生い茂っている。

ちなみに、当時の鶴遊殿は、出石町織物会社社長宅とし、鶴鳴殿は城崎町浄土寺本堂として建てられている。

西村美樹彦記「豊岡民話 耳ぶくろ(昭和50年発行)」より



クイズ【4】のヒント

